

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年11月30日

計画の名称	津波避難の安全性を高めるまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	南知多町												
計画の目標	<p>本町は三方が海で、東に三河湾、南西は伊勢湾に面した知多半島の最南端に位置する地域である。</p> <p>現在、本町は東海地震に関する地震防災対策強化地域、南海トラフ地震防災対策推進地域及び南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定されており、また、平成26年5月に愛知県が公表した「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」によると、南海トラフ地震発生に伴い発生する最大クラスの津波により、最大津波高は9.5メートル、津波高30cmの津波到達時間は最短18分、浸水想定区域は416haと想定されており、これまで、避難計画の策定や避難訓練、避難マップ作成など各種対策を行ってきた。</p> <p>しかし、浸水が想定されている地域のうち、師崎地区では、既存の避難施設では想定される避難住民に対し、避難場所が不足している。このため、南海トラフ地震に伴い発生する津波から円滑な住民の避難を実現させるために、緊急の津波避難対策として避難場所を整備し、地震・津波から命を守るまちづくりを目指す。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	29	A	29	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R2末)
1	緊急の津波避難対策として避難場所を整備し、住民の収容スペースを確保する。 避難場所を整備することにより、避難場所の収容人数を増加させる。	0人	0人	125人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	南知多町	直接	南知多町	-	-	都市防災総合推進事業(師崎地区)	避難場所整備(1箇所)、避難経路整備(1箇所)	南知多町						29	-	
											小計						29		
											合計						29		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 南知多町総務部防災危機管理室において実施	事後評価の実施時期 令和4年11月
	公表の方法 町公式ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	収容スペース125㎡（125人分）の避難場所ができ、避難容量不足が解消された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
地域住民に対し避難場所の周知を図るとともに、災害時の円滑な避難のため地域での避難訓練を継続して実施し、地域防災力の向上を図っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	125人
	最終実績値	125人